

7 がっひかりごう

平成 30 年 7 月 1 日 輝 保 育 園

梅雨明けが待たれる時期です。夏は、心も身体も開放的になり、水遊びやダイナミックな砂遊びも活発になってきます。五感をフルに使って遊ぶには、最適な遊びです。友達と同じ遊びを通して、楽しさを共有する経験や、水の怖さ、約束を守る大切さを知って欲しいと思います。暑さと、夏の遊びで、体力を消耗します。ご家庭での健康管理をお願いします。



【【 保育参観 】】

お忙しい中、ご参加頂き、有り難うございました。

ご家庭とは違った一面も見られたのではないのでしょうか。

保育参観を通して、ご家庭と保育園が共通認識のもとで、子ども達、保育者、保護者が共に育っていければと思います。

★ プール遊び ★

今月から、本格的にプール遊びが始まります。

先日、ひまわり組さんが、汗びっしょりになりながらプール掃除をしてくださいました。

子ども達はとても心待ちにしています。

楽しいプール遊びも、カードを忘れる、記入もれ、日付を間違っ記入する、等の不備があると、元気でプール遊びができません。

毎日、お子さんの健康状態を確認し、カードに記入して持たせて下さい。



= 7 月の行事予定 =

- 6 日 (金) 避難訓練、七夕祭り
- 26 日 (木) 身体測定、お誕生会

《《《 お願い 》》》

1. クリアケースの中と、お便り帳を毎日確認してください。
2. 投薬依頼がある場合は、必ず職員に手渡しをお願いします。
3. 持ち物や衣類には名前の記入をお願いします。名前が薄くなっていないか、もう一度確認して下さい。
4. 夜更かしをさせず、早寝・早起をし、しっかり朝食を摂りましょう。
5. 毎日入浴させ、清潔にしましょう。

☆☆ 社会ルール ☆☆

～ 手本となる大人の姿 ① ～

大人が、子どもの手本になっていることを意識しましょう！

子どもの行動や言葉遣いに注目してください。

意外に日常的に接している大人の行動や言葉遣いに似ていることに気付きます。

子どもは、身近な大人を手本にし、その言動を当たり前のこととして見、自然のうちに学んでいます。

つまり、大人の立ち振る舞いの積み重ねが子どもの言動に影響を与えるのです。

社会ルールやモラルに即したものであれば、それはほほえましいことですが、社会ルールやモラルに反することであれば、影響を受けた子どもがやがて大人となった時、当たり前のように次の世代に連鎖していき、社会全般の規範意識が低下していきます。

「子どもたちに社会ルールやモラルを守って生活してほしい」子どもに関わる大人であれば、誰もが思うことです。

しかし、その思いとは裏腹に、「これぐらいは…」、「自分さえ良ければ」、「見て見ぬふり」などといった、子どもの良い手本になっているとは言えない大人の姿が多く見られるのも事実です。

まずは、大人が意識や言動を変えていき、子どもに良い手本を示す必要があります。

「教育力向上福岡県民運動 ホームページ」より抜粋

= ナース・レポート =

【夏風邪トリオとも呼ばれる「手足口病」、「ヘルパンギーナ」、「咽頭結膜炎（プール熱）」にご注意！】

手足口病とヘルパンギーナは、初期症状としては、どちらものどに水泡ができます。

手足口病は、口腔内に加え、手や足にも発疹が出現し、37～38℃の熱で発熱しない場合もあります。

ヘルパンギーナは、水泡は喉に局限し手や足にははでることはなく、39～40℃の高熱がでます。

プール熱は 39～40℃の高熱が出て、5日前後と長く発熱が続きます。

加えて特徴的なのが結膜炎です。

目が充血したり、痛みを伴い目やにがでます。

手足口病・ヘルパンギーナは登園届、プール熱は意見書が必要な感染症です。

感染症の発生には 3 要素あり ① 感染源 ② 感染経路 ③ 感受性がある人、つまり抵抗力の弱い高齢者、乳幼児、基礎疾患を持っている方をさします。

体力の低下は様々な感染症のリスクが高まるだけでなく、罹患した場合は療養が長期化することを招きかねません。

日頃より、バランスの取れた食事、十分な睡眠をとり、体力の消耗を防ぎ、感染症に対する抵抗力を高めていきましょう。

こ ども の よ う す

たんぽぽぐみ 0 才児



過日の保育参観、園での生活見て頂き、3カ月の成長を感じて頂けたと考えています。昼食では、手洗いが終わり、それぞれの食卓台に坐ると、身を乗り出すほど楽しみな時間になっています。「いただきます」のご挨拶と共に手づかみで食事を楽しんでいます。この「手づかみ食べ」は大切な成長段階と言われている。「手づかみ」で食べる事は目の前にある食べ物に対して関心をもち、自分で食べる事で満足感が得られ、食事に対しての意欲が出てきます。また、目で見た物の正しい位置へ手を伸ばし、手に取って口まで移動させ、口に入れることで、目と手と口が連動する動作が発達します。この経験をたくさんする事で食物の性質を知り、自分で食べれる一口量が分るといわれています。更に、スプーンやお箸を上手に使う事にもつながります。

たんぽぽぐみ 1 才児



保育参観には、たくさんの方に来ていただきありがとうございました。普段、園でどのように過ごしているかを見ていただきました。家庭と変わらない姿、家庭では見たことのない姿とそれぞれだったようですが、どの子も、自分の思いをしっかりと出しながら過ごす姿を見て頂くことができました。これからも、自分の思いを出せる環境を大切にかかわっていきます。以前からお部屋にいたメダカに加え、かたつむりが仲間入りしました。虫かごの中で、動き回ったり、人参やきゅうりを食べたりしている様子をくぎ付けになって見えています。かたつむりが出てくる絵本を見たり、歌を聞いたりすると、「かたつむり、あそこにいるよ」と言うように、棚の上を指差したり、手でかたつむりを作ったりして知らせてくれます。

すみれぐみ 2 才児



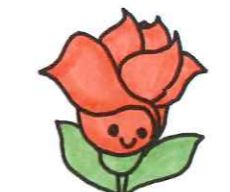
蒸し暑い日が続いています。最近とくに楽しみにしているのが水遊びです。朝から「先生、水遊びする？」とわくわくしています。準備の着替えでは、みんな今までみたこともないような集中力での取り組み、あっという間に着替え終わっています。楽しいことが待っているの、意欲的に取り組むことができます。4月から毎日の生活の中で、頑張って取り組んでいる着脱ですが、随分自分たちで出来るようになってきました。子ども達も自分で出来るのが嬉しく「出来た！」とはじけるような笑顔です。「自分で出来た」という達成感を感じてほしいと思ひ、難しいところはさりげなく手伝いながら関わっています。ご家庭でも、すべてを援助するのではなく「自分で出来た！」という喜びを感じ、自信につながるよう温かく見守ってあげてください。

ちゅうりっぷぐみ 3 才児



参観、ありがとうございました。当日は、緊張した姿もありましたが、子ども達にとっても楽しい時間だったようです。面談時、身辺自立の確立について再確認させて頂きました。確立に向け頑張るのは子ども達自身です。子ども達が頑張ろうとする環境を作っていく事が、私たち大人の役割です。園とご家庭で協力して応援していきましょう。参観後から、「お箸の練習してるよ！」と誇らし気に教えてくれる姿が見られます。技術の習得だけでなく、心も喜びで満たされている様子が感じられます。一つひとつの課題を適切な時期にクリアすることで、子ども達の心の中が自信でいっぱいになることを願っています。今月から、子ども達が楽しみにしているプール活動が始まります。プール遊びができるという喜びを原動力に、着脱の確立に向け取り組んでいきます。

ばらぐみ 4 才児



野菜の苗を植えました。「先生、きゅうり出来てるよ！」と報告にきてくれた男の子がいました。その言葉に、周りの子ども達も駆け寄ります。「ワー!!」と、収穫を期待する歓喜の声です。それからというもの「水あげていい？」と、進んでお世話をしてくれます。雨天時にも水やりをしていた為、「土が乾いていたら」と伝えると、土を触って確認するようになりました。雨が降ると、「きゅうり大きくなるかな？」と、生長を気にかけています。植物に親しみを持って接することで、生きているものへの温かな感情の芽生えや生命を大切にしようとする心が育っていきます。花が咲き、実がつき、生長し収穫するといった流れを体験から学ぶとともに、その後、終わりを迎える過程を見る事で、生命に対する心がより豊かになることを願い、今後も取り組んでいきます。

ひまわりぐみ 5 才児



6月の誕生会で、2チームに分かれて自分達で考えた「ドラえもん」のダンスを発表しました。自然と男女に分かれて自由に踊っていました。お互いにダンスを発表する機会を設けると、女の子は一人の子を中心にダンスが出来上がっていましたが、男の子はそれぞれが好きに動いたり、時に部屋を走ったりするなど大きな差がありました。女の子のダンスを見た男の子の感想は「びっくりした」、「すごかった」と自分達も違いを感じていました。それから男女混合チームを作り、チーム名とリーダーを決め、リーダーの子を中心にダンスを作っていました。皆で円になって踊ったり、2人組で踊ったりと工夫して踊り、男の子は友だちの動きを見て真似ることが出来るようになりました。これからは友だちと工夫したり考えたりする活動で子ども達のやる気を高めていきます。